

# BETHEL通信

## 2014年7月号 (第132号)

松山ベテル病院 松山市祝谷6丁目1229番地 TEL089-925-5000  
ホームページ <http://www.bethel.or.jp/>

## 6月の花“アジサイ”と日本近代医学の夜明け

6月に入りジメジメした梅雨の季節がやってきました。鬱陶しい気分になってしましますが、雨に濡れた瑞々しい緑の葉っぱの間から鮮やかな青色の花がいくつも寄せ集まってブーケのような可憐さで見るとひと時の安らぎを与えてくれます。アジサイの名前は、藍色の花が集まるという意味の「あづさあい(集真藍)」が変化したものとされていますが、土壌の酸性度で色が変わりアルカリ性では赤色になるようです。

ところで、アジサイの学名をご存知ですか。ハイドラランジア・オタクサといいます（現在は使われていないようですが）。命名者は日本近代医学の父と呼ばれるシーボルトです。

シーボルトは医師の修行とともに博物・動植物学も修め日本の動植物の研究を目的に、1823（文政6）年、オランダ商館付き医師として長崎の出島へ来日しています。

そこで運命的な女性“楠本滝；お滝さん”と出会いました。シーボルトは日本での研究の成果として多くの本を出版していますが、その中の”日本植物誌”にアジサイの花をハイドラランジア・オタクサ“として紹介し、シーボルトがお滝さんへ寄せる思いを示したものとされています。お滝さんはシーボルトとの間に女の子をもうけ、名を楠本イネと名づけています。

シーボルトは日本での研究活動と医師として診療のかたわら、長崎の鳴滝に塾を開き（鳴滝塾）、高野長英など多くの塾生に医学や博物学など西欧の知識を教授して蘭学発展に大きく貢献しています。西洋医学を志す多くの若者が全国から集まり、伊予宇和島の二宮敬作もその塾生の一人でした。シーボルトは、帰国の際に国外持ち出し禁の日本地図を持っていたことから国外追放処分の身となってしまい、二宮敬作にイネの行く末を託したとされています。

イネは、父シーボルトと同じ医術の道を志し、伊予宇和島（現在西予市卯之町）で開業していた・二宮敬作を頼って愛媛へとおもむき、医者修行に励みます。イネの女医としての評判は良く、宇和島藩主伊達宗城から厚遇されたと伝えられています。後に東京で女性で初の産科医院を開業しています。

アジサイの花言葉は、西洋では「移り気」「高慢」「あなたは美しいが冷淡だ」などマイナスのイメージですが、日本では「団結」「仲良し」「友達」など好意的なイメージで見られているようです。うっとりしい梅雨の季節に一服の清涼剂的な花のイメージからすると日本的なイメージがピッタリで、ロマンスの香りが込められた歴史を知るとなおさら見る目が違った趣を感じてしまいます。皆さんも鬱陶しい忙しい日々の中で通りすがりで見るアジサイの花に、いにしえ人の心に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

（松山ベテル病院 院長 中橋 恒）



【アジサイとシーボルト記念館】



# 腰痛について (1)

腰痛の原因疾患としては、腰椎椎間板ヘルニア・脊柱管狭窄症・腰椎すべり症などがあります。しかし、腰痛の85%は非特異的腰痛と呼ばれる原因がはっきりしない痛みです。

## 腰痛を評価するときの考え方

### (1) 年齢と性別

腰痛は、高齢になると有痛率が増加しますが、30歳以降は、生産年齢で各年代30%~40%と年代に差がなく罹患しています。女性では骨粗鬆症があるので、50歳代以降で割合が増します。加齢によって椎間板の変性・脊柱の変形・筋力の低下があると、腰痛の因子が増加していきます。

### (2) 現痛歴

腰痛には、「職業的」「運動的」「社会心理的」要因がどう影響しているか考える必要があります。休業4日以上職業性疾病の6割を、腰痛が占めています。とくに、医療・福祉や販売業での発症が増えており、身体を前後に曲げる・物や人を持ち上げる・押したり引いたりするなど作業動作が多く、長時間立ったり、上を向く・下を向くなど、同じ姿勢をとる姿勢で発生しやすくなります。

最近の研究では、対人関係のストレス、仕事のやりがいや満足度、他の人のサポートの有無によって発症した腰痛の重症度が変わることや、ストレスによって脳内の神経伝達物質であるドーパミンやセロトニンが分泌不全を起こし、腰痛を変化させることがわかってきました。

### (3) 理学療法検査より

#### ① 筋・筋膜性

腰痛の中で一番多いとされています。筋肉に繰り返し負担をかけたとき、血行が悪くなるとともに微細な損傷から痙攣状態になり、起こると考えられます。運動時痛が特定の部位に起き、しびれが起きる場合もあります。

#### ② 椎間板性

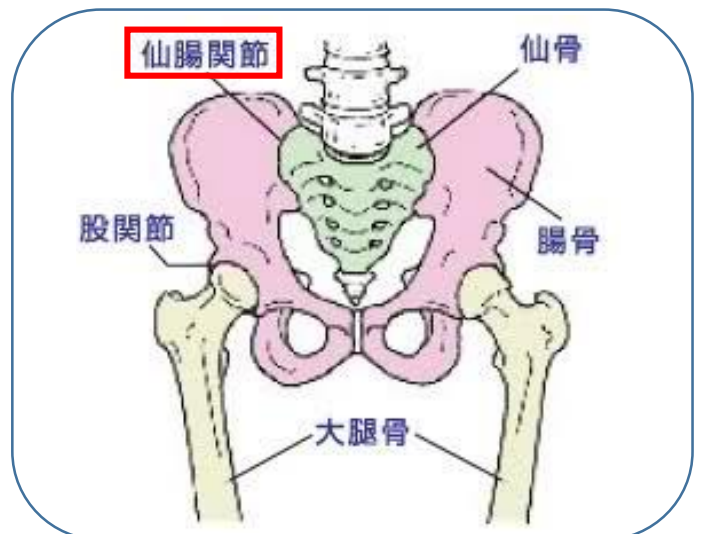
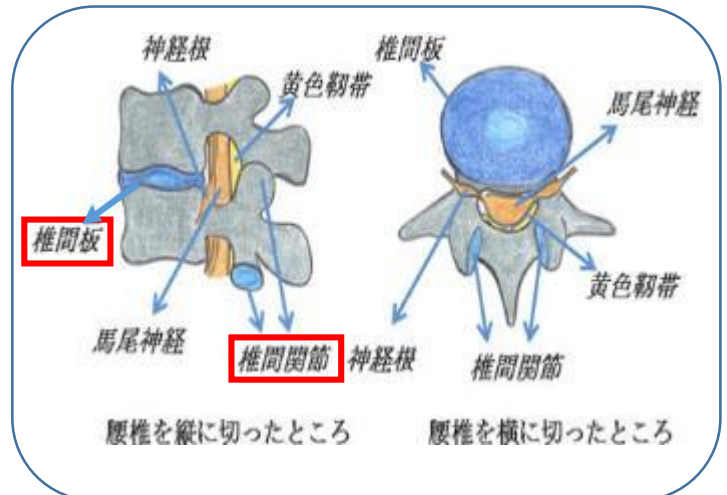
椎間板には、痛み感受性の神経が入り込んでおり、体の深部から発生する痛みと言われ、立位・坐位で耐え難い痛みを有すると考えられています。はっきりとはわかっていません。

#### ③ 椎間関節性

腰椎が過前弯(前方へカーブしている状態)にて椎間関節が圧迫されると、関節内の神経が刺激されます。体を反らしたときの運動痛が特徴です。

#### ④ 仙腸関節性

仙腸関節への繰り返されるストレス、可動性低下、妊娠後の骨盤不安定性が原因と考えられています。腰背部~下肢への痛みが主症状と考えられています。正確な診断は難しいとされています。



(理学療法士 倉橋 和人)

## 外来からのお知らせ

◎ 7月の豊田 泰孝 医師（精神科・心療内科）外来診療日のお知らせ  
7月9日（水）、7月23日（水）

◎ 7月の休診（6月20日現在）

7月15日（火）、7月29日（火） 神経内科 西川 典子 医師

## 新人紹介

てらだ さゆり  
寺田 小百合 さん



配属部署：4階西フロア  
職 種：入浴介助  
出身地：大分市  
星 座：双子座  
趣 味：高知へのプチ旅行  
好きな物：お酒、家呑み  
好きな言葉：置かれた場所で咲きなさい  
抱負（一言）：スタッフの皆さんや、患者さんから日々学ばせて頂いています。  
よろしくお願ひします。

## 講演会のお知らせ

2014年度松山ベテル病院後援会主催の講演会を下記の日程で行います。

【テーマ】「いのちに向き合う  
—死生学の観点から—」

【講師】藤井 美和氏

【日時】9月13日（土）  
午後2時開演

【場所】日本基督教団 松山教会

【お問合せ】松山ベテル後援会事務局  
TEL 089-925-5000（代表）

※お申込みは不要です。

※入場無料



## ベテル句会

アマリス  
まつす 赤に燃えて  
梅雨兆す  
（河田 和子）

雲の峰  
動き愉しや  
魅とれけり  
（角田 正司）

薫風を  
受けて草花  
生き生きと  
（渡部 博行）

梅雨空に  
傘という名の  
花が咲く  
（松本 珠季）

うぐいすと  
ナースの笑顔に  
癒される  
（加藤 久美）

雨の日に  
乙女が揃う  
田植歌  
（門田 節子）

汽関車の  
響き整う  
青嵐  
（平岡 恵風）

朝食に  
とうきび蝗（いなご）  
香ばしく  
（山下 早知子）

狭庭に  
咲きて芍薬  
王者なみ  
（谷 節子）

投句箱は受付・各病棟・5階リハビリ室に設置しています。皆様のご投句をお待ちしております。  
※『ベテル通信』についてのご意見やご要望をお待ちしております。